

超感覚英語講座の講師と学ぶ！  
世界を旅するシンガポール  
6日間



2025年度 ツアー報告集

## はじめに

大学生協では、日本では体験できない「異文化」を体験し、グローバルな視点やチャレンジ精神を育むことで、大学生の成長に貢献、将来の可能性や選択肢を広げるきっかけとするため、さまざまな海外体験プログラムを展開しています。

2024年度からは【世界を旅するシンガポール】を新たに開始し、2025年度が2年目の実施となりました。この報告集では参加者の現地での学びをまとめています。

この報告集が、お読みいただいたみなさんの海外体験に一步踏み出すきっかけになれば幸いです。

ツアー事務局（大学生協事業連合九州地区）

## 超感覚英語講座 講師からメッセージ

このシンガポール研修は「世界へ羽ばたき、国際社会で活躍する」ためのきっかけであって欲しいと思っています。世界には多様なコミュニケーションの形があります。自分の考えを相手に伝え、理解してもらい、相手の考えも受け取り、理解する。異文化理解は凄いことではなく、世界では「普通」なのです。相手と違う考えを持つことを恐れず、好きな場所で活躍する人材になって欲しいと願います。

超感覚英語講座講師（株式会社fit group）

※超感覚英語講座とは

中四国・九州の大学生協が主催し、愛媛県の総合学習塾fitの講師が担当する英語講座です。「1つの単語に1つのイメージ」をキーワードにネイティブが持つ感覚を学ぶことで、英語を好きになる・使える英語を身につけることを目指します。本ツアーは超感覚英語講座の受講生を中心に募集し、実施しました。



# 世界を旅するシンガポール



## ツアースケジュール

Day1	福岡空港集合・オリエンテーション 直行便でシンガポール・チャンギ空港へ マーライオンと初対面 夜の会
Day2	朝の会 シンガポール現地大学生交流 シンガポール国立博物館訪問 マリーナベイサンズスペクトラ鑑賞 ガーデンズバイザベイショー鑑賞 夜の会
Day3	朝の会 シンガポール市内散策 ◎リトルインディア ◎アラブストリート ◎ブギス 夜の会
Day4	朝の会 マレーシアへの国境越え ジョホールバル散策 夜の会
Day5	朝の会 終日自由行動 まとめの会
Day6	直行便で福岡空港へ 解散式

※上記は2025年度のスケジュールです  
2026年度は変更予定の箇所があります

## 目次

- はじめに P3
- ツアー全体振り返り P4-5
- 参加者アンケート P6-7
- 参加者レポート P8-11

## 参加実績

- 実施期間：8/25～30、9/2～7
- 参加人数：62名  
※英語講師、生協職員同行
- 参加者所属大学：  
北九州市立大学、西南学院大学、  
九州大学、佐賀大学、熊本大学、  
鹿児島大学

## シンガポールを選んだ理由

- 公用語が英語！**  
シンガポールは公用語が4つあり、その1つが英語で、基本的に英語が通じる環境です。
- 多様な異文化体験ができる！**  
シンガポールは移民たちによって形成されている国で、シンガポールにいろいろな異文化を体験できます。
- 時差が少ない！**  
日本との時差は1時間のため、初めての海外旅行に最適だと考えています。



## 日本ではできない 「異文化」を五感で感じる 6日間のプログラム

### 事前学習

ツアー出発前に、オンラインで事前学習を3回行いました。初めての海外旅行となる参加者も多く、準備することや注意点も伝えています。共に過ごす仲間とまずは画面上で交流しています。現地でのグループ別自由行動に向けて、計画も進めています。

### 1日目

#### シンガポールへGO

#### 到着後は早速マーライオンと初対面！



福岡空港に集合します。オリエンテーションを行った後、シンガポール航空の直行便で一路シンガポールへ向かいます！約6時間半のフライトです。到着後はMRT(地下鉄)で市内まで移動し、その後、シンガポールと言えば！の代表「マーライオン」と初対面しました。

### 2日目

#### 現地大学生との交流→シンガポール博物館→ショー鑑賞



シンガポールの大学生とホテルで交流後、チャイナタウンを一緒に散策しました。参加者アンケートでは、印象に残ったこととしてこのプログラムが第1位でした。同じ大学生同士、楽しく交流することで、英語を話すことのハードルがグッと下がった参加者が多かったのが印象的です。その後、博物館までグループで移動し、シンガポールの建国の歴史を学びました。夜はシンガポールのエネルギーや発展を感じるショーを鑑賞しました。

### 3日目

#### 市内散策（リトルインディア・アラブストリート）・自由行動



3日目はシンガポールの多様な文化を感じる時間となりました。グループごとに各エリアの集合場所まで徒歩やMRTを使って移動していきます。リトルインディアでは、寺院を訪問し、現地の方へ英語で質問をするミッションに挑戦をしました。アラブストリートではサルタンモスクを訪問し、現地の方からお話を伺いました。その後はグループ別の自由行動となり、ブギス散策や少し足を延ばしてカトン地区に行ったりと、グループごとにお楽しみいただきました。





## 4 日目

## マレーシアへの国境越え & ジョホールバル散策



路線バスに乗って  
マレーシア・ジョホールバルへ向かいます！  
約1時間半で到着します。  
日本ではできない**陸路での国境越え**です！

ナイトマーケットに訪問しました！  
値札がないお店がほとんどなので、参加者たちは英語で値段を聞いたり、値下げ交渉をしたりと、お買い物を楽しんでいました。



シンガポールからマレーシア・ジョホールバルへ行き、マレーシアの文化を感じる1日となりました。現地の寺院に訪問して現地の方の話を聞いたり、ローカルなショッピングモールに行ったり、ナイトマーケットに行ったりと、さまざまな体験をしました。ナイトマーケットではシンガポールとは異なる雰囲気や物価の違いを肌で感じました。値引き交渉にも果敢にチャレンジし、値引きに成功した方もいました！夜にはシンガポールに戻り、1日の振り返りをする夜の会を行いました。経験したこと・感じたことを言語化し、参加者自身の学びとして積み重ねること、ほかの参加者とも意見交換することでより学びを高めるために実施しています。

(※夜の会は毎日実施しています)

## 5 日目

## 自由行動・まとめの会→空港への移動



事前にグループごとに計画したスケジュールに沿って1日を自由に過ごしました。セントーサ島に行ってテーマパークで遊んだり、水族館に行ったりと充実した時間を過ごしました。5日目となるとすっかり街や英語環境に慣れて、積極的に行動していました。スマホに頼らず、分からないことは現地の方に声をかけて相談・解決していきます。シンガポール発の生絞りオレンジジュースは参加者に大人気で、毎日飲まれる方もいました！おすすめです。夜はまとめの会を行い、1人ずつツアーでの学びを各自のベストショットと共に全体に発表しました。時間が足りなくなるくらい、1人1人がしっかり話をしてくれました。その後、専用バスでチャンギ空港に向かいます。



## 6 日目

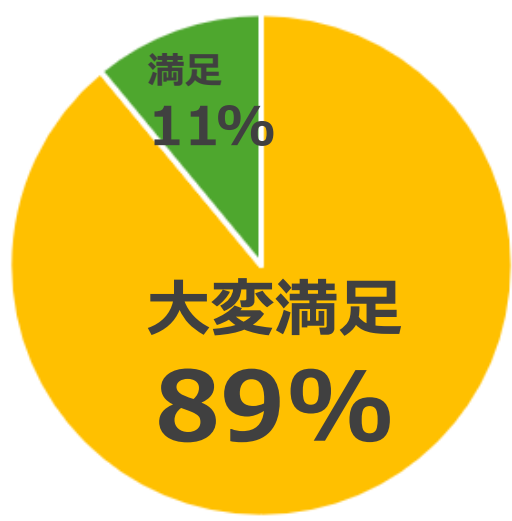
## 帰国・解散式

名残惜しい気持ちを抑えて、福岡空港へ向かう飛行機に搭乗です。約6時間のフライトです。福岡空港到着後、解散式を行い、それぞれ自宅へ戻ります。

～お疲れ様でした～



# 参加者の満足度 100%



24年度から2年連続の100%評価！  
参加者の皆さんからたくさんの  
「参加してよかった」の声をいただきました



ガーデズバイザベイ  
での集合写真♪

## 【参加者アンケート】 ツアー全体の感想を教えてください！



初めての海外が、このツアーで本当に良かったと思います。このツアーじゃなかったら出会えなかった素敵な友達やスタッフの方々、現地の大学生、現地の方が沢山いたと思います。ただの海外旅行だったら自分はすぐスマホを開いて有名な観光地に行って、現地の人とも翻訳機を使って終わっていたかもしれません。しかし、研修として過ごしてみて英語を使って話す楽しさや、異文化体験によるショックなど良いことも悪いことも全身で味わうことができました。初めての海外がこのツアーだったことで、これからもっと海外に行きたいという気持ちが強くなったし、有名な観光地よりも現地の人の実際の暮らしぶりや宗教的なものに興味が強くなりました。

英語に対するハードルが下がりました。今までは文法を完璧にした文を頭で考えて言わなきゃという考えで、英語を話すことに勇気が出なかったが、今回のツアーで、自ら英語を話す環境に置かれて、気持ちと単語がわかれば伝わるという経験をしたことで話すことへの壁が壊れました。この経験がこれからの英会話の成長につながると思いました。

ツアー中、びっしり予定が詰まっていた満足度1000%でした。  
つねに様々な学びがあり、最後には涙あり。最高のツアーでした。

自分にとってこのツアーは100点満点の内容で、とても濃い6日間だった。色々な宗教施設を訪れて、そこでその宗教について現地の人にインタビューしてみることで、異文化への理解が深まった。それぞれの文化を知ること、少し混乱もしたが、そういった実体験からきたリアルな感想などをこれからの大学の探求活動のきっかけに出来ればと思う。学習的な面以外でも充実していた。シンガポールの観光地での行動や、ショーの時間帯の把握など、自分達で行っていたらバタバタしそうなことも、ツアーの効率的なプランニングのおかげで、存分に観光地を満喫できた。本当に最高で充実した6日間だった。

## 【参加者アンケート】 この研修に参加しようと思った理由は？



海外に行ったことがなく、初めてでも安心して行けそうだったから。

受験勉強とは違う「生きた英語」を使えるようになったかったから

大学生活の半年がなにもしないまま終わった感じがして何かに挑戦したいと思って、このツアーなら安心して一歩を踏み出せるかなと思ったから。

海外に行ってみたい！英語でコミュニケーションを取ってみたい！英語講師・生協職員と同行で安心！と思ってくれた方が多いようです。初めての海外渡航という参加者がほとんどでした。

## 【参加者アンケート】

### 出発前に不安な点がありましたか？その不安は現地にきてみてどうでしたか？

自分の英語がどれだけ通じるのか、相手の話していることをきちんと聞き取ることができるのかがとても不安でした。しかし、実際はカタコトの英語でも通じるし、単語だけでもジェスチャーを交えながら話すことで通じました。相手が何を言っているかわからない時は「Sorry?」と簡単なことを言うだけでゆっくり話してもらうことができました。自分の英語が通じているのを身を持って体験することができてよかったです。



## 【参加者アンケート】 印象に残っているプログラム BEST3

シンガポールの大学生との交流

27

マレーシア国境越え

18

シンガポール国立博物館見学

12

シンガポールの大学生との交流でたくさん英語でコミュニケーションをとって、英語を話すことに抵抗がなくなりました。自分にとって、英語を使うハードルを崩すメンタルブレイクの機会になりました。



## 【参加者アンケート】 ツアーに参加するか迷っている後輩へのおすすめポイント



絶対に参加するべきです！！特に海外に行ったことがない人におすすめで、海外のハードルがかなり下がるし、自分の新たな一面が見えてきます！！

自分が持っている概念が大きく変わるし、6日間の中でお腹いっぱい新しい感動、経験をすることができる。とりあえず行ってみよみたいな感覚でいいから行くべき！！

英語力をつけたい人にもおすすめだけど、大学1年生という今だからこそ、自分の考えが凝り固まる前に、このツアーの「多文化交流」を通して、視野を広げる経験ができること。



# ツアーを終えて

## 参加者レポート

### 小さな世界を経験

「世界を旅するシンガポール」という名前の通り、私は六日間という短い時間の中で小さな世界を経験できた気がした。というのも、英語研修という漠然としたイメージとは違い、予想以上に多くの体験をすることができたからだ。

一日目のチャンギ空港から国や宗教などの境を超えた様々な人と美しい景色に出会い、マーライオンと写真を撮った後は班での初ご飯を食べるために、日本語に頼ることのない道をドキドキしながらも進み、拙い英語とジェスチャーで注文・会計をして、ホテルに帰るとやっと安心できた。他にも、寺院に行きインタビューを通して宗教観を味わったり、シンガポールの大学生とお互いについて話したり、マレーシアのマーケットで実際に値段交渉を試みたりと、後半になるにつれて帰るのが惜しくなるくらい濃厚な時間を過ごした。そして最終的に、現地の人々から実際に聞き、自分自身で体験したことだけでなく、今回の旅を共にした仲間からも得たものが多くあった。毎日の振り返りでは、同じ行動でも感じるものや気づくところが人それぞれ違って、特に海外未経験者からの新鮮な視点は刺激にもなったうえ、自分一人では見つけられなかったことであり、発見のきっかけに感謝している。

この旅では、特にリトルインディアでのインタビューが強く印象に残った。うまく言葉で表現できないが、あえて言葉で表現するより実際に自分で聞いて感じることができたので、それがすべてだったのではないかなと思う。

これからの大学生活では、今まで勇気が出せず話しかけられなかった留学生に積極的に話しかけたり、たくさんの国や地域に渡ってコミュニケーションや異文化理解に努めたり、TOEICなどの試験を含めて何でも挑戦していくつもりだ。



### 初めての海外がシンガポールで良かった

人生で初めての海外がシンガポールで良かったと思います。今回のシンガポール研修で、多民族国家ならではの雰囲気強く感じることができたからです。特に、印象に残っているのは、リトルインディアでの宗教体験です。寺院を訪れた際に、現地のインドの方にインタビューをする機会がありましたが、英語での会話はとても難しく、インドの方特有の発音や話すスピードにより、聞き取れず、何度も聞き返してしまいました。その時は、自分の力不足を痛感すると同時に、相手の方に申し訳ない気持ちにもなりました。しかし、その経験の中で気づいたこともあります。自分が理解できない時、相手の方は言い方を変えてくれたり、話すスピードを落として繰り返してくれたりしました。自分も必死に聞き取ろうとすることで、少しずつですが意思疎通ができるようになり、とても嬉しかったです。この体験を通して、英語を正しく話すことだけが大切なのではなく、「伝えたい」という気持ちや「相手の話を理解したい」という姿勢が大事なのだと実感しました。また、異なる宗教や文化を直接体験することで、教科書で学ぶだけではわからない「生きた学び」が得ることができると感じました。

今回の経験を通じて、自分の英語力の足りなさを実感しましたが、それ以上に挑戦することで得られる成長の大きさを知ることができました。大学生活では、留学生との交流や英語の授業に積極的に取り組み、間違いを恐れずに話してみることを大切にしたいです。そして、シンガポールで感じたように、いろいろな価値観を持つ人と関わり合いながら、自分の視野をもっと広げていきたいと思っています。



## 英語を「楽しむ」

6日間のシンガポールでの研修を通して自分の中で大きく変化したことは、ただ英語でコミュニケーションをとるのではなく、「楽しむ」ということです。私がこの研修に参加した理由は、今まで出会った英語の先生方が海外への留学やホームステイなどを経験してきた人が多く、私も英語の教員になるのであれば1度は海外に行ったという経験があったほうがいいかなと考えたからです。中学生の頃から英語を使う活動に参加してきたので、英語を話すことに抵抗はなく、自分の実力がどれくらい発揮できるのか楽しみな気持ちが大きかったです。しかし研修中、伝えたいことを上手に伝えられなかったり、英語で質問できたとしても相手の言っていることが聞き取れなかったりしたことがありました。正直悔しいと感じました。でも私は現地の大学生との交流で、大きく気持ちが変化しました。現地の大学生はみんなフレンドリーで話しやすく、「英語でのコミュニケーションはこんなにも楽しいのか!!」と英語を話せなかったという悔しさを忘れてしまうほど楽しさを感じさせてくれた瞬間でした。同時に、私が今まで出会った英語の先生のようにかこよく話さなければならぬ、と無意識のうちに自分でメンタルブロックを作っていたことに気づきました。この経験から私は、英語を話すことにコンプレックスを持っている人たちに、英語での対話が楽しいと思ってもらえるような授業を作りたいと考えました。自分の成長を感じ目標もさらに明確になって、本当にこの研修に挑戦してよかったと、心の底から思いました。

最後に...

事前研修から研修本番まで計画、尽力してくださったfitの講師の方々、大学生協の方々、一緒に活動した九州2グループ目のメンバー、研修の費用を出してくれた両親、そして一緒に参加しようと背中を押してくれたF.Aさん、すべての人に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。この経験を糧にこれからの大学生活も充実したものになるように頑張ります。参加できて本当に良かったです!!!



## 悩むくらいなら参加してしまおうという気持ち

私はもともと、留学や海外への興味が少なく、大学中に海外に行くつもりはほとんどなかったです。しかし、大学に入学してから約半年が過ぎ、このまま何もしないまま大学生活が終わっていきそうなのが怖くなり、何かしらに挑戦したいと思っていました。そんなときに、TOEICの講座で、このツアーについて知り、この機会を逃したら本当に何にも挑戦できなくなりそうと思い、たくさん悩んだけど、悩むくらいなら参加してしまおうという気持ちで応募しました。結果として、参加することを選んで本当に良かったと思っています。事前研修で立てた目標の一つに、毎日気づいたことや、感じたことを記録するというのを設定していたのですが、このこと書きたいなと思ったり、これは忘れずにいたいなと思ったりする瞬間がたくさんありました。その中で、全体を通して印象に残っていることを3つ紹介します。

1つ目は、英語のことで、伝えることの難しさや伝わったときのうれしさを感じたことです。簡単な英語で伝えることもあるけど、やっぱり伝えるのが難しい場面もたくさんあった。飲食店でアルバイトをしているので、海外のお客さんと話すことがあるけど、自分が外国人である立場を経験できてよかったと思いました。少しでも伝わったらうれしいからこそ、もっと伝えられたら、コミュニケーションがスムーズに取れたら、もっと楽しいだろうなと思い、もっと英語を頑張りたいと思えました。

2つ目は、宗教に対する考え方です。日本にいると宗教に関わる機会は少ないからこそ、自分の目で、心から信仰する人たちを見ると、その宗教に対する真剣さや誠実さが伝わってきました。また、どのような宗教なのかを、信仰している人から直接聞くことで、別に無宗教の私たちから考え方がかけ離れている訳でもないし、人として大切なことを体現しているということを知れました。

3つ目は、人の温かさです。人種も宗教も違う多くの人達が、共生していたけど、みんな優しく、寺院で声をかけた人達も、色んな店の店員さんももちろん優しく、迷っていたら、こっちが聞く前に声をかけてくれたり、現地の大学生はセルフレジのとき隣で教えてくれたり、ほかにも本当に様々な場面で人の優しさや温かさを感じられました。どんな人種だろうと、宗教に属しようと、それ以前に一人一人は優しさを持った人間なのだとことに気づかされました。すべてが貴重な経験と、思い出になりました。

## 英語が伝わる喜び・伝わらない悔しさ

始めに断っておくと、シンガポールで私が体験したことは濃密すぎて、600字では到底収まりきれません。なのでこれから書くことはその莫大な学びの中でも、英語の学習という部分にフォーカスして書きます。ほんとは異文化理解という点でも書きたかった。

やっぱり私も日本で英語を学んできたので、語彙や文法、リスニングまではしてきたものの、話す練習はほとんどしてきませんでした。その自分の「英語で話す力」の無さを大学の授業で痛感したのも一つ、私がこのツアーに参加するきっかけになったように思います。そして実際にこのツアーでも、自分の会話力の無さを突きつけられました。自分の伝えたいことが伝えられないのはもどかしいし、悔しかったです。

それでも、たまに綺麗に伝わることがあって、その時はめっちゃくちゃ嬉しくて「英語やってて良かった」と思えました。それに案外、海外の人は優しいし、少しの言葉で意思疎通できた場面も多くあって、行く前に身構えていたほど敷居が高い場所じゃないなと思えました。

研修のあいだ中かなりせめぎ合っていたんですが、結果的にはそういうポジティブな面が勝って、帰りの飛行機ではどうにか英語を使おうと必死になっている自分がいました。(りんごジュースを一杯もらいました。)

今後の大学生活では、英語の勉強(特に会話)を続けながら、もっとお金を貯めて、今度はもっと長い期間海外に行きたいと思っています。このように思わせてくれるきっかけを頂いて、ありがとうございます。

P.S.お土産代をくれた両親にありがとうを伝えました。喜んでくれました。



## 興味を持ったことには飛び込んでみる

私がこの研修に参加した目的は、他の参加者と比べるととても小さなもので、ただ単に、日本ではできない経験をしてみたいという漠然としたものだった。明確な目的なしに研修に参加する意味はあるのかと悩むこともあった。しかし、実際にシンガポールで多くの経験をして、多くの知識や考えを得ることができ、自分の中の価値観も変わった。私が今回学んだ最も大切なことは、自分が少しでも興味を持ったことに対してどんな理由でもいいから飛び込んでみるということだ。物事に取り組む目的や理由も大事かも知れないけれど、自分が実際に見て、聞いて、肌で感じるということの方が大きな財産になると感じた。実際に肌で感じるという点では、ヒンドゥー教の寺院での経験が私を大きく成長させてくれた。寺院に入る前に靴を脱いで、教徒に自分から質問をした。信じるとは何なのかをたくさん考えさせられたし、新たな世界に飛び込むこと、新たな世界を知ることのハードルが下がった。また、現地の大学生との交流の中で、英語で話すということのハードルが低くなった。この交流で思ったことは、英語に限らず自分の言葉を相手に伝えるのに重要なのはパッションだということ。もちろん完璧な英語を話せるに越したことはないが、自分が熱量を持って話しかければ、相手もその熱量分は返してくれる。このことに気づいてから英語を楽に話せるようになった。この経験を活かして、今後は少しでも興味を持ったことはとりあえず行動に移してみようと思う。そして、英語を使う機会を増やすために、次は自分の力だけで海外に挑戦してみたい。





## 実際に行動してみることが大切

僕は来年アメリカに長期の留学をしようと考えています。しかし、いきなり海外に行くのは不安も多く、その不安を少しでもなくし海外での生活に慣れたいという思いもあって今回この研修に参加しました。この1週間は今までの人生の中でもトップクラスで充実していて本当に濃いシンガポール、マレーシアの旅だったと思います。シンガポールは想像の100倍近未来で、マレーシアはディープな部分が最高でした。

今回の旅で自分の力になったと思う部分が2つあります。一つ目は英語を話すと言うハードルが下がったことです。この研修の前までは何か完璧な英語で話さないといけないという思いがありました。しかし、英語力も当然必要ですがそれ以上に話してみよう話したい！という気持ちの部分の方が大切なのだと感じました。お店の店員さんやアトラクション待ちをしていた時に一緒に並んでいた人に積極的話しかけたり、現地に來ていた他の観光客の方から道を聞かれた時もしっかり案内したりすることができました。またホテルのロビーの方とは最終日に一緒に写真を撮るほど仲良くなれました。

2つ目は宗教に対しての意識が大きく変わったことです。今まで宗教についてしっかりと学んだことはなく、日本人にはあまり関係のないことだと思っていました。しかし、様々な宗教について実際に信仰している人に話を聞いてみると気持ちの持ち方や物事の考え方などとても参考になる部分もあり、自分の中の価値観が変わったり視野を広くしたりすることができました。やはりリアルな声を自分の耳で聞くことはとても大切だなと思いました。

研修の約1週間は毎日が充実していて貴重な体験がたくさんできました。本当に参加してよかったなと思っています。



## 固定概念が崩れた意義のある体験

今回のツアーで初めてシンガポールに行ってみて、私のシンガポールに対するイメージは大きく変わった。それと同時に、私は今まで東南アジアに強い偏見や固定概念を持っていたのだということに気付くことができた。このツアーに申し込むにあたって私が1番心配していたのが衛生面だ。それまで私のなかでは東南アジアに清潔な印象は無く、トイレやホテルのお風呂場などはどれだけ汚いのだろうというようなことばかり考えてしまっていた。しかしいざ現地に行ってみると全くそんなことはなく、ホテルは日本と大差の無い、想像の何倍もきれいな部屋だった。またホテル周辺はとても都会的な街並みで、発展途上のイメージとは良い意味で大きく異なっていた。スペクトラから見えた高層ビルが立ち並ぶ様子からは、今も経済成長を遂げているシンガポールの勢いを感じた。私が思っていた東南アジアに近いのはマレーシアだったように思う。今までシンガポールとマレーシアは東南アジアの国としてひとくりにして、勝手に似たもの同士の国なのかなと思っていて、けれどマレーシアに行ってみてそうではないと気が付いた。物価から街や交通の様子までなにもかも違っていき軽く衝撃を受けた。同じ東南アジアでも様子がこんなに違うのだと知り、私の東南アジアに対する固定概念が崩れた意義のある体験だった。また今までイスラム教は怖いイメージしかなかったが、現地のガイドさんのお話を聞いて、その固定概念も崩すことができた。お話の中で特に印象的だったのが、イスラム教徒は夕焼けを見て神様に感謝するということだ。夕焼けを見てきれいだなあとは思いますが、誰かに感謝するという考えは初めてだった。イスラム教徒の人々は日本人よりも日頃から感謝の気持ちも持っているのだろうなと思い、それまでの攻撃的なイメージから温かく素敵なイメージへ変わった大きな経験だった。

私はいろいろなことに対してまず偏見や固定概念を強く持っしまい、なかなか近づかないところがある。けれど今回のツアーを通じて、実際に足を運んでみると気付かなかったことがたくさんあって、とりあえずやってみることの大切さを学んだ。これからは何かに挑戦しようとして先にいろいろ心配する前に、一旦飛び込んでみようと思う。



2026年度 世界を旅するシンガポールについて

## 2026年の夏休みに3コース実施します！

詳細は2月発行予定の募集パンフレットにて  
ご確認をお願いします。

申し込みは4月頃から開始いたします。

ツアー紹介動画は  
こちらから



ツアー説明会の  
予約はこちらから

